



# 摂社は「相撲発祥の地」

(奈良まほろばソムリエ  
の会員 岡本喜一)

山の辺の道の桜井市北  
端部から少し東へ歩いた  
山のふもとに鎮座してい  
ます。

坐兵主神社伝によると、穴師

かつては上社と下社が  
あり、上社の穴師坐兵主

若御魂神社も合祀され、  
現在の祭祀の形になつた  
と考えられています。

役員や全幕内力士が神社  
を訪れて顕彰大祭が行わ  
れ、大鵬、柏戸の両横綱  
の土俵入りが奉納されま  
した。



穴師坐兵主神社（桜井市）



(住所) 桜井市穴師493  
(祭神) 穴師坐兵主神社=兵主神、  
大兵主神、若御魂神  
相撲神社=野見宿禰

(交通) JR巻向駅から徒歩約25分  
(拝観) 境内自由  
(駐車場) あり  
(電話) なし

の時代に、倭姫命が天

皇の御膳の守護神として  
奉斎されたのに始まる

とあります。現在の本殿は  
同神社を中心的に両隣に  
されます。現在の本殿は

の争乱で焼失したため、  
下社の穴師大兵主神社の  
あつた現在の社地に移つ

たとされています。ま  
た巻向山にあつた巻向坐  
撲発祥の地」と伝わりま

す。1962(昭和37)年に当時の日本相撲協会  
とされることから、「相

天覧相撲が行われた場所  
と当麻蹴速により最初の  
相撲発祥の地」といわれてい  
ます。

摂社の相撲神社は、垂  
仁天皇の時代、野見宿禰  
と当麻蹴速により最初の  
相撲発祥の地」と伝わりま  
す。1962(昭和37)年に当時の日本相撲協会  
とされることから、「相